



2015年5月期 第2四半期決算説明会

2015年2月13日

三光合成株式会社

- I 会社概要 2
- II 2015年5月期第2四半期 連結決算概要 12
- III 2015年5月期 連結業績予想 24



INSTRUMENT PANEL

ENGIN COVER

RR PAD ROOF

ROOF RARE

SPRASH SHIELD

RR TRAY

BACK DOOR PANEL

RR SIDE GARNISH

INNER FENDER

SIGE SILL

UNDER COVER

CUP HOLDER

AIR DUCT

AIR BAG LID

GLOVE BOX

COLUMN COVER

FR GRILL

FR CTR RR PILLER

COWL TOP

FR BUMPER

FR PAD ROOF

INSTRUMENT PANEL

会社概要

車両、電子機器向け樹脂成形大手、海外売上比率は約6割
－ 完成車メーカーのグローバル生産に“寄り添う”
完成車メーカーの大量生産体制を支える不可欠の存在

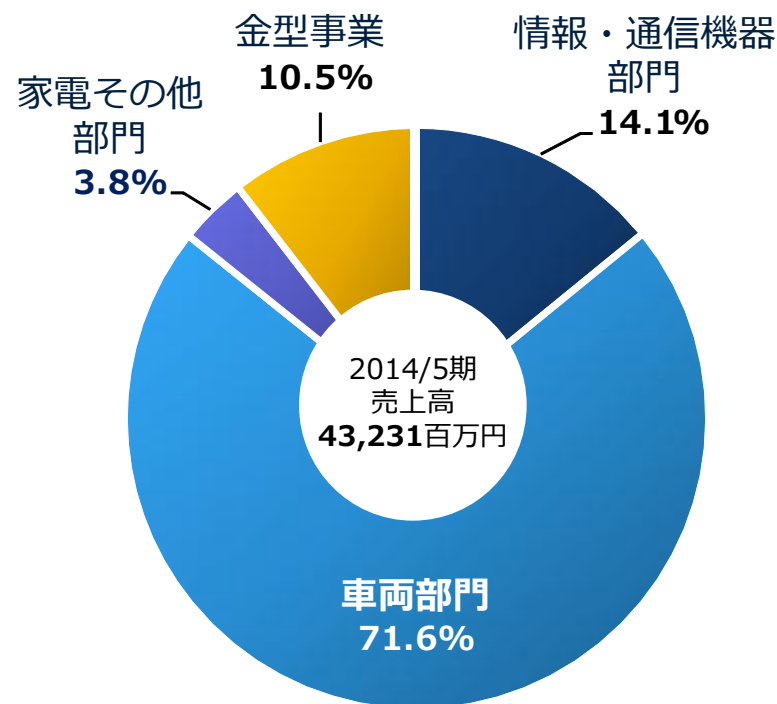
最大の特徴：金型設計・製造部門をグループに内抱
－ 樹脂成形メーカーとしてきわめてユニーク、品質信頼感に寄与
マザーツール（金型）が支える「マザー機能」

「特殊商品」の存在
－ 一見すると低付加価値だが、他社では製造できない商品
「これがないと車は動かない」製品など

会社概要（2014年11月30日現在）

社 名	三光合成株式会社
本 社 工 場	富山県南砺市土生新1200番地
代 表 者	代表取締役 社長 黒田 健宗
設 立	1944年9月18日
事 業 内 容	1. 成形品事業 (情報・通信機器部門) (車両部門) (家電その他部門) 2. 金型事業
資 本 金	1,890,800,000円
主 な 連結子会社	SANKO GOSEI TECHNOLOGY (THAILAND) LTD. SANKO GOSEI (THAILAND) LTD. SANKO GOSEI UK LTD. PT. SANKO GOSEI TECHNOLOGY INDONESIA 他子会社10社及び関連会社 3 社
従 業 員 数	509名（単体）、2,191名（連結）

部門別売上高構成

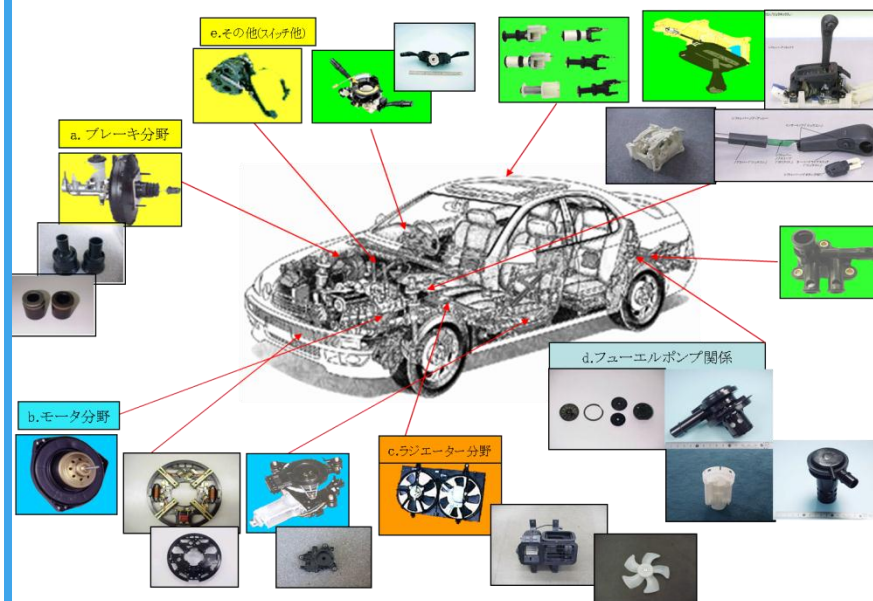


売上のほぼ6割が海外
(P18参照)

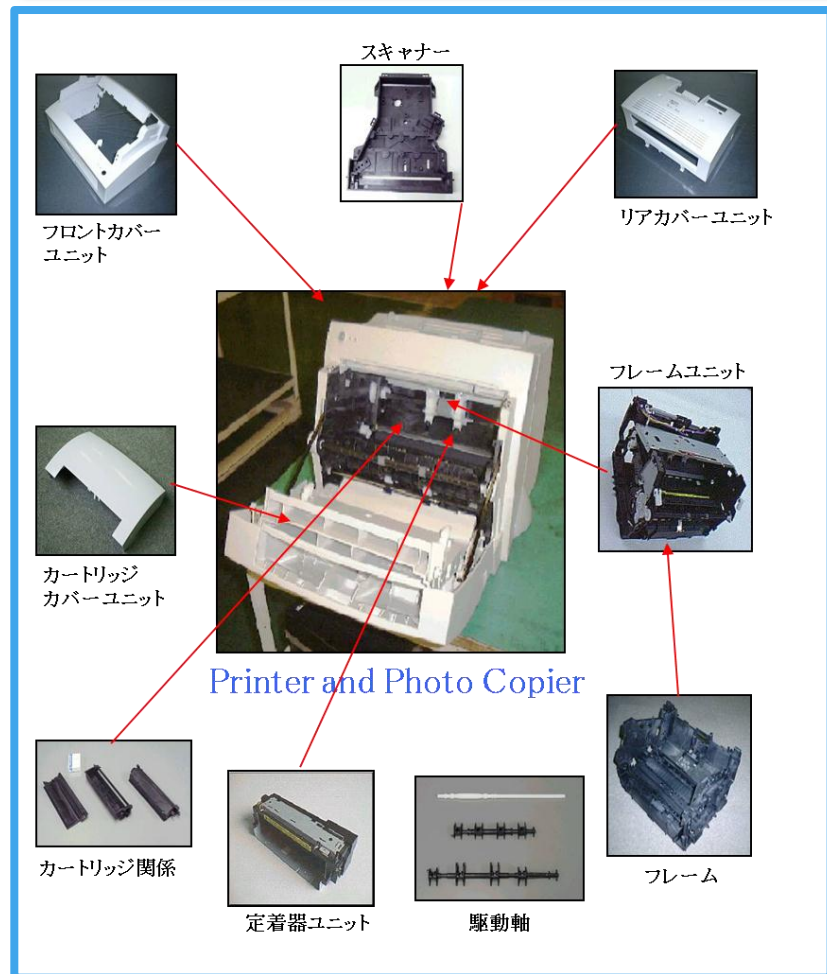
完成車の内装・外装パーツ中心 ＜一般部品＞



なければ車が動かない部品 ＜機能部品＞



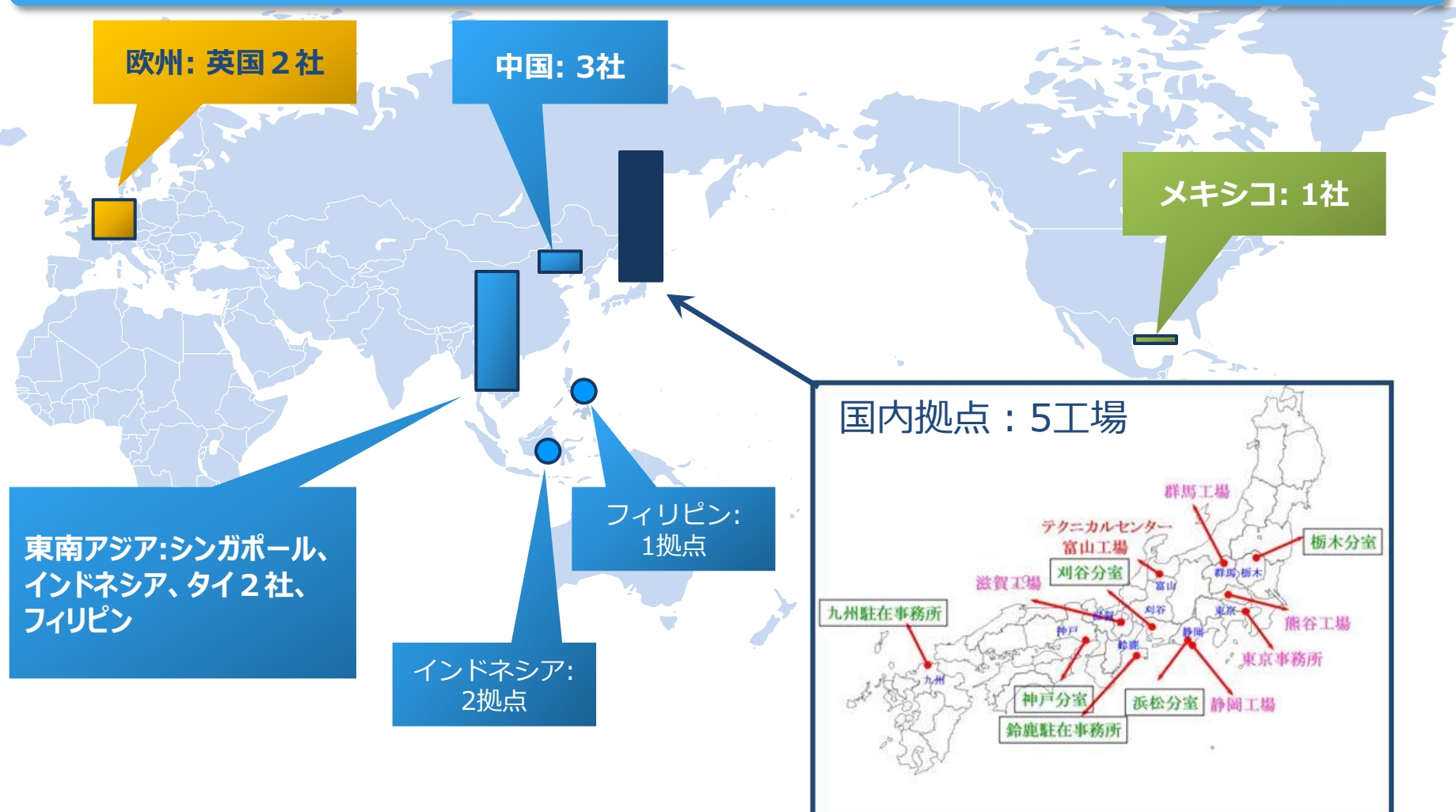
コピープリンター向け部品



エアコン向け部品



完成車メーカー工場に隣接してグローバルに生産拠点を展開



一貫した「品質の連鎖」が「総合品質：顧客満足」へ



通常は金型専門メーカーに委託する部分

製造現場の
悩みとニーズ



三光技術者の
提案

CAE解析

86年国内草分け
として導入

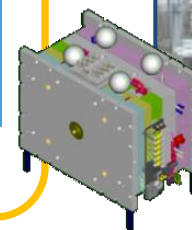
金型メーカーとして
最長のレコード
保持

金型設計・制作

スタート段階から
大量生産に耐える設計

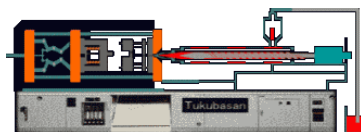
専門金型メーカーとの
最大の違い

省力化機器
製作



この「不具合逆流プロセス」を排除！

量産



(通常のメーカーなら)
大量生産特有の
不具合発生

品質管理



製品納入



「顧客メーカーのニーズ
発生⇒大量生産⇒納入」
プロセスに一貫してコミット

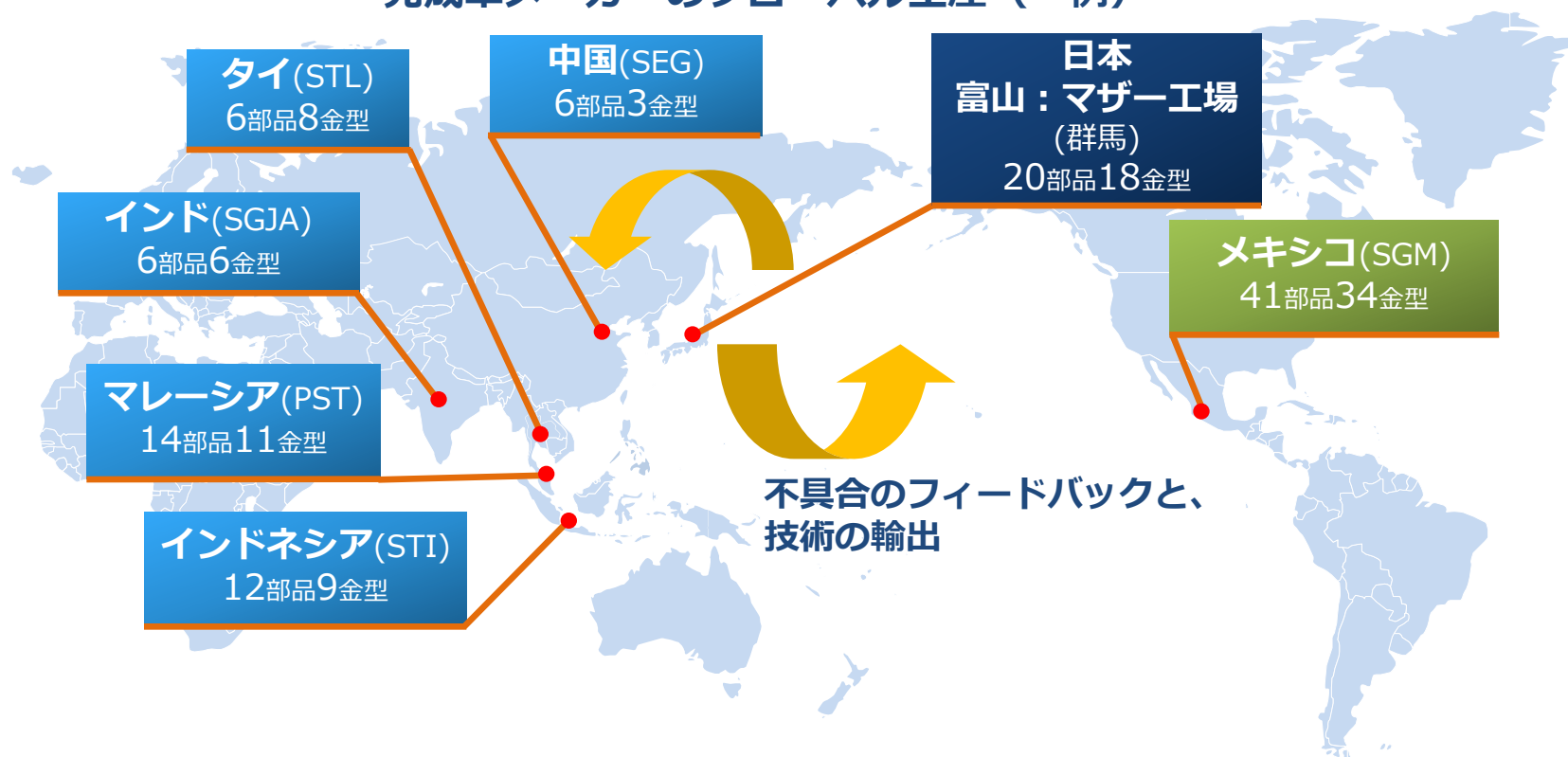
金型設計の段階から、
大量生産に耐える設計、
「工程不良 5/10,000」を
常に意識

国内で新車用部品金型の開発⇒世界中へ展開

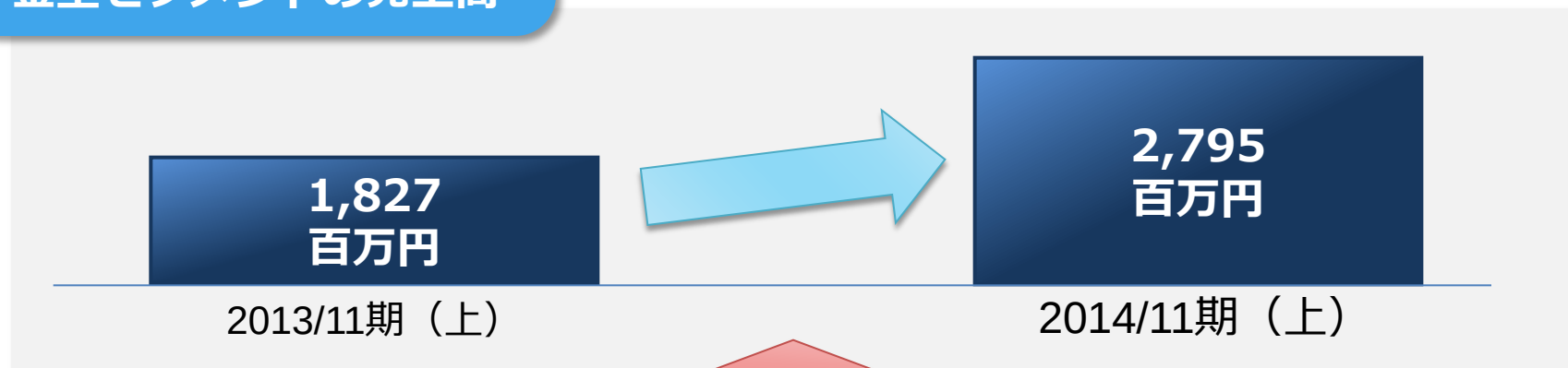
各国の三光拠点が金型の品質維持—不具合は現地改善+日本にレポート

『不具合とソリューション』データのグローバルな蓄積へ

完成車メーカーのグローバル生産（一例）



金型セグメントの売上高



生産性の大幅向上

円安に伴う
海外売上増加

金型製造方法
の転換

金属光造形複合加工機
(3Dプリンター) 導入効果



名称：インペラ

機能：燃料ポンプ内に組付ける部品電動モータとインペラ（羽根車）が燃料ポンプ内に内装され、モータの回転に連動してインペラがガソリンを押し出す仕組みになっている。

技術：お客様から燃費向上のために従来とは異なる羽根の形状で量産したい相談を受ける。

複雑な羽根形状のため、従来の金型では量産化が不可能であったが、弊社のあらゆる技術を駆使して金型製作を行い量産化に成功した。

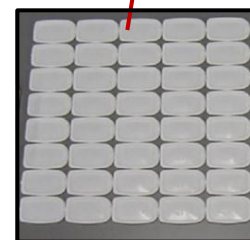


名称：パワーピストン、ブレーキブースター等々

機能：ブレーキの倍力装置の部品（ブレーキを軽く踏んでも機能を果たす部品）

技術：高い部品精度の要求

従来は、熱硬化性樹脂で量産していたが、大量生産及びコストダウンのために現在は熱可塑性樹脂で量産している。



リキャップN



ストリーキャップ

名称：リキャップ、ストリームキャップ

機能：紙パック飲料のキャップに使用。

技術：・食品関連部品のため、クリーンルームでの生産。

・よって、成形、溶着、検査、梱包までを全て無人の自動化で対応。



INSTRUMENT PANEL

ENGIN COVER

RR PAD ROOF

ROOF RARE

SPRASH SHIELD

RR TRAY

INSTRUMENT PANEL

RR SIDE GARNISH

INNER FENDER

SIGE SILL

AIR BAG LID

GLOVE BOX

FR GRILL

CUP HOLDER

UNDER COVER

AIR DUCT

COLUMN COVER

COWL TOP

FR BUMPER

INSTRUMENT PANEL

FR PAD ROOF

FR CTR RR PILLER

2015年5月期第2四半期 連結決算概要

■ 売上高は前期比17.5%増収、3期連続の増収、営業利益は同15.9%増益

日本、欧州で車両部品向け金型が好調。成形品の前年同期比14.1%増収に比べて、金型は同52.9%増。

利益は増収効果に加えて、為替差益で約1億円を計上、国内事業では円安に伴う原材料高があったものの順調な増益基調に。

■ 金型を中心に生産性の向上顕著

「国内工場の再編」、「海外拠点との連携強化」、「3Dプリンターの活用」などを通じて生産性が大幅に向上。内製化金型の生産性向上により受注量が増加し、先々の成形品売上高に寄与してくる見込み。

● 営業利益	:	1,053百万円	(前年同期比 +15.9%)
● 経常利益	:	1,006百万円	(前年同期比 +44.9%)
● 当期純利益	:	745百万円	(前年同期比 +39.5%)

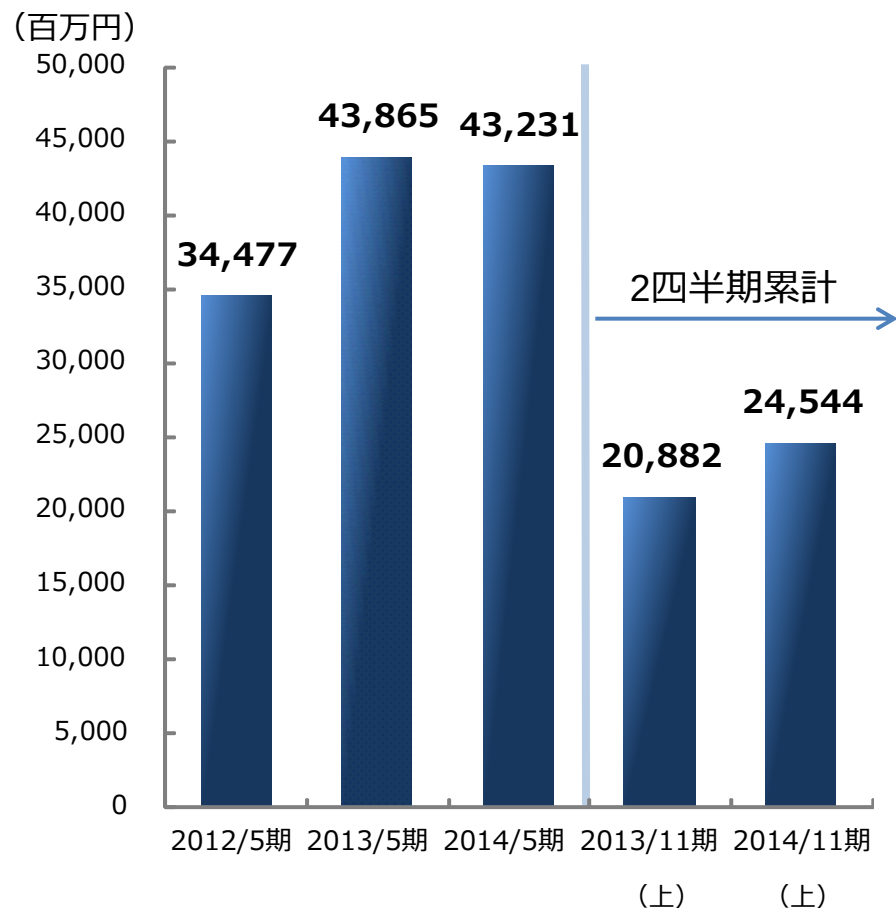
2014年5月期決算状況



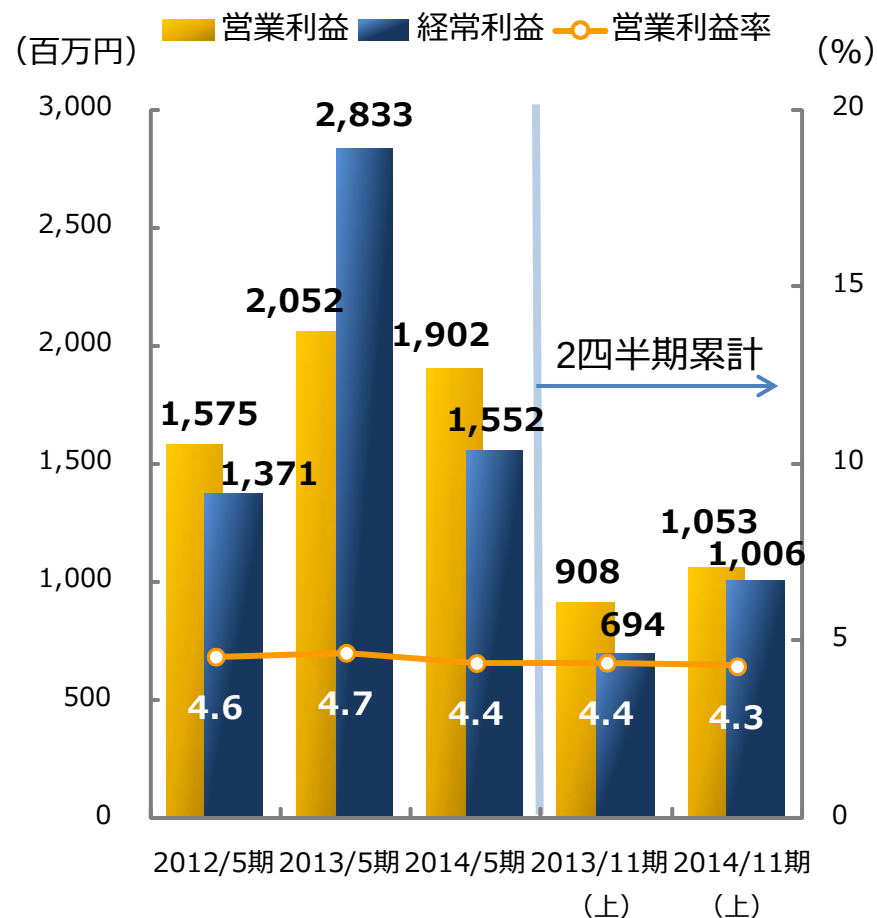
	2013年11月期（上）		2014年11月期（上）				
	金額 (百万円)	構成比 (%)	計画 2014.7.4	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比	
						増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	20,882	100.0	22,000	24,544	100.0	3,661	17.5
売上総利益	3,276	15.7	-	3,741	15.2	465	14.2
販管費	2,367	11.3	-	2,687	11.0	320	13.5
営業利益	908	4.4	1,000	1,053	4.3	144	15.9
経常利益	694	3.3	900	1,006	4.1	312	44.9
当期純利益	534	2.6	600	745	3.0	211	39.5

売上高・営業利益・経常利益の推移

売上高

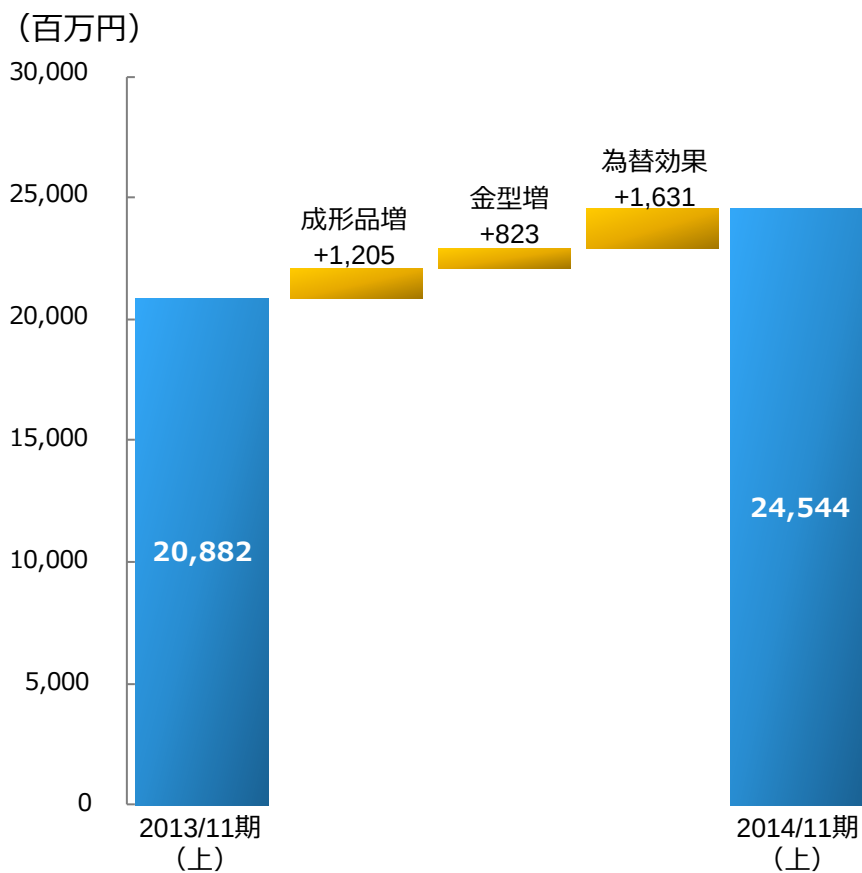


営業利益・経常利益

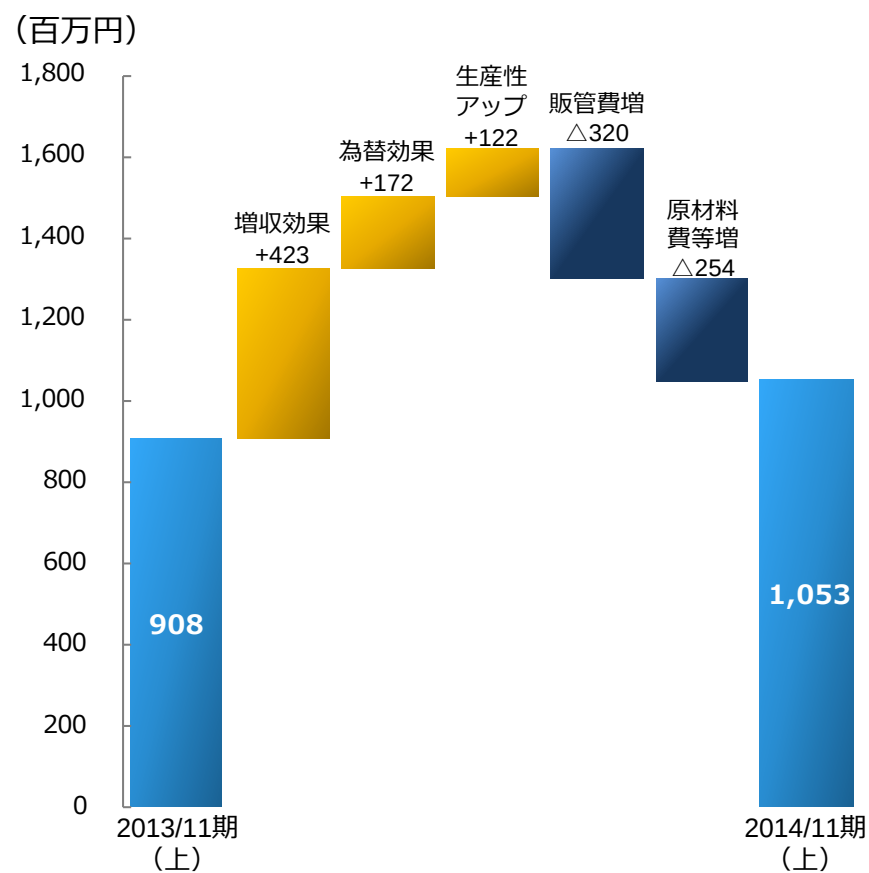


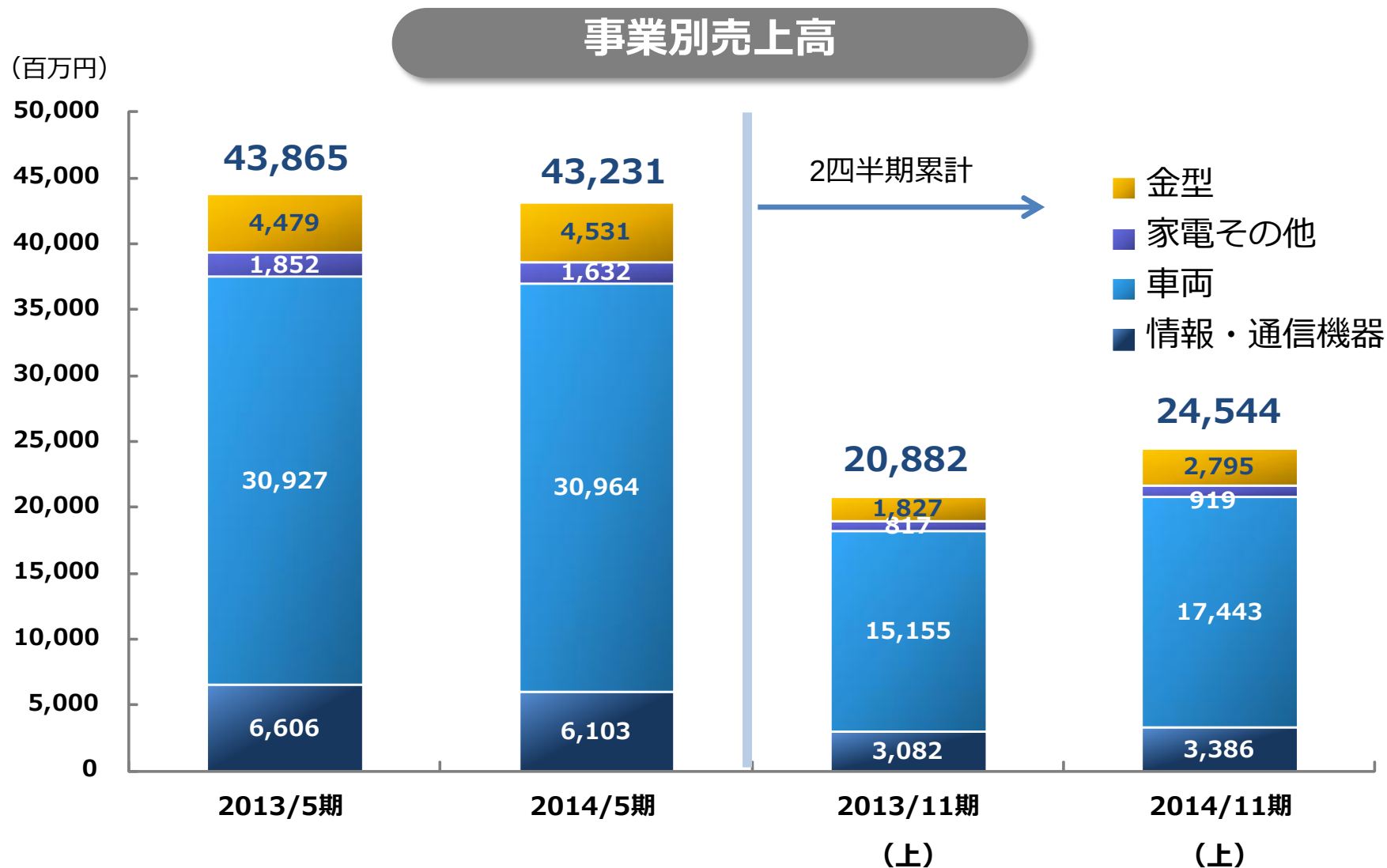
売上高・営業利益の増減要因分析

売上高



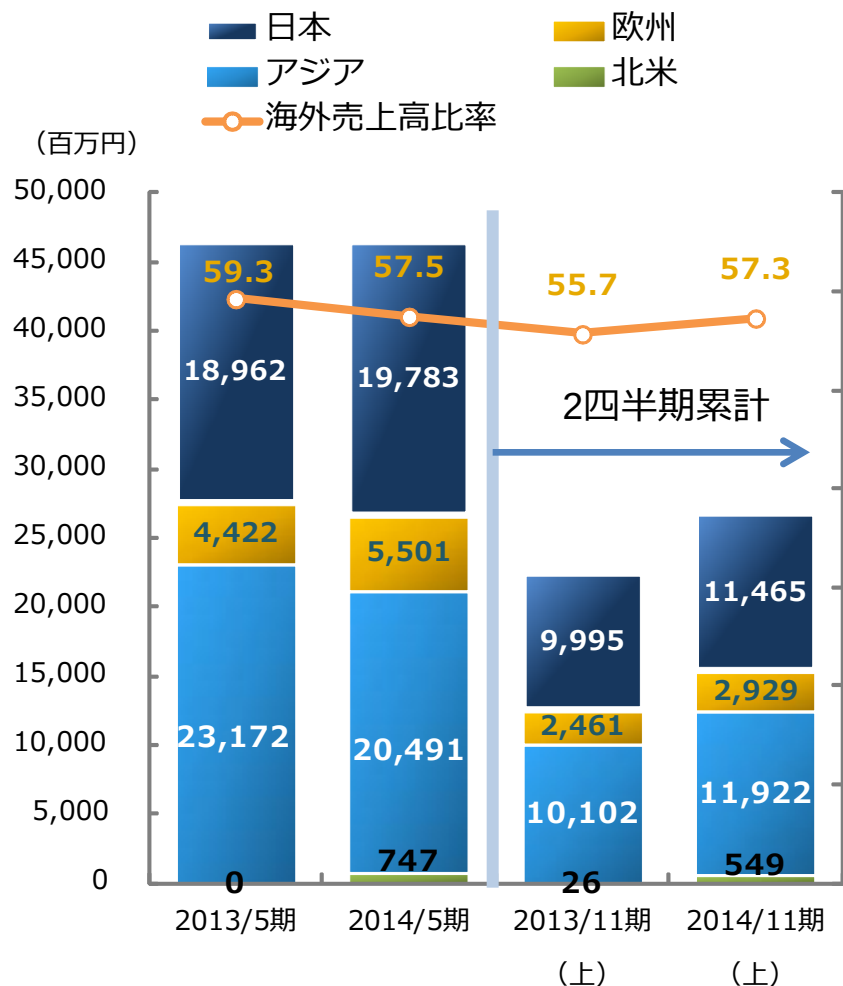
営業利益



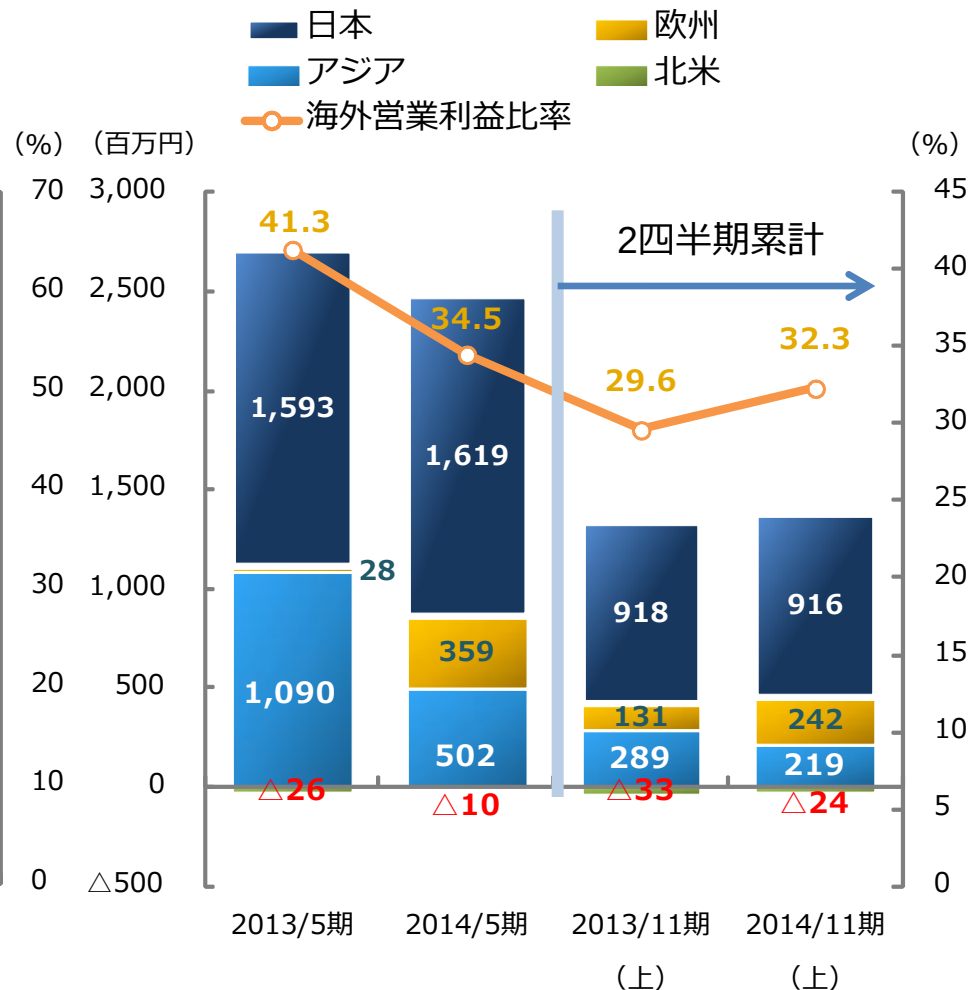


地域別売上高

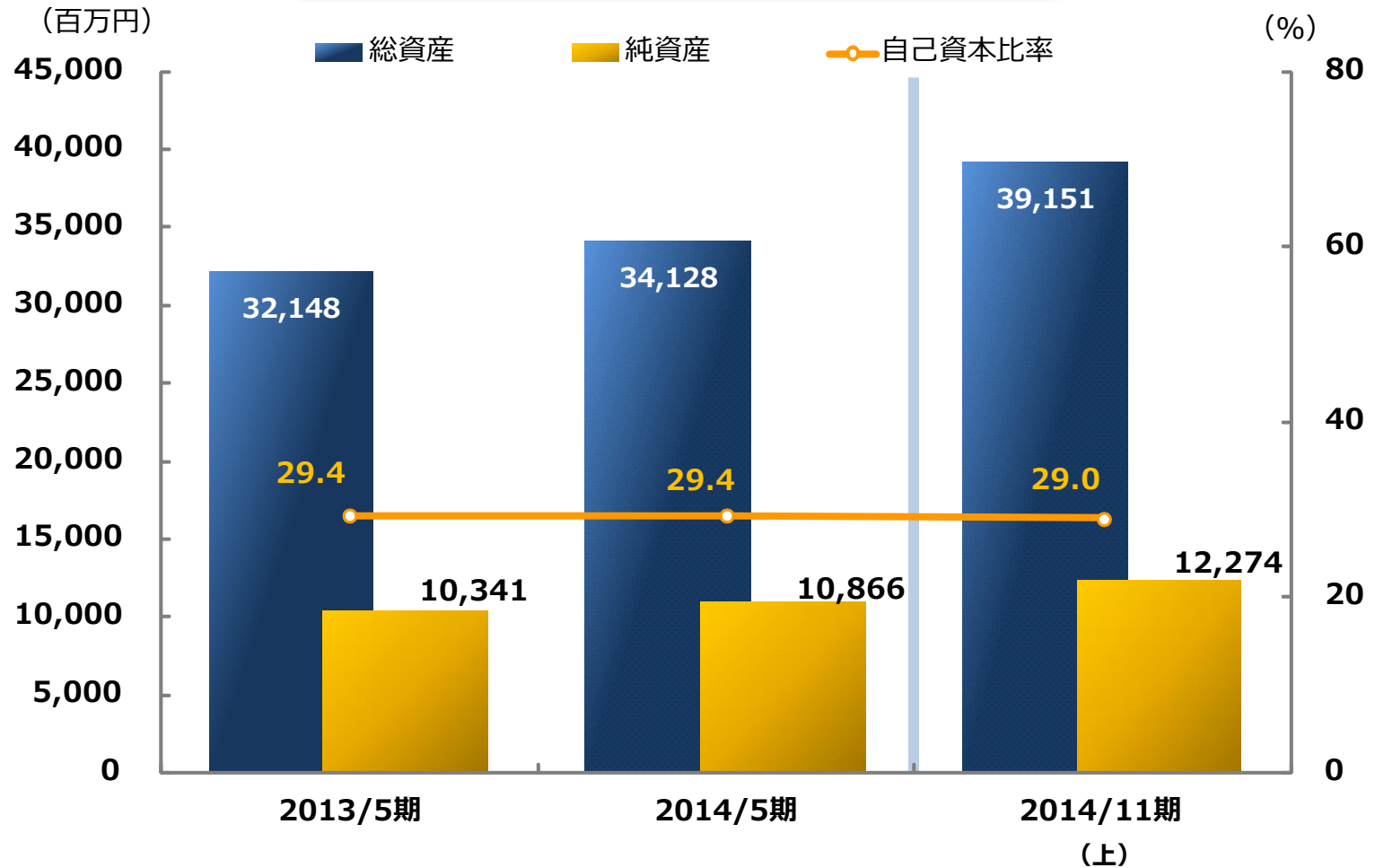
地域別売上高



地域別営業利益

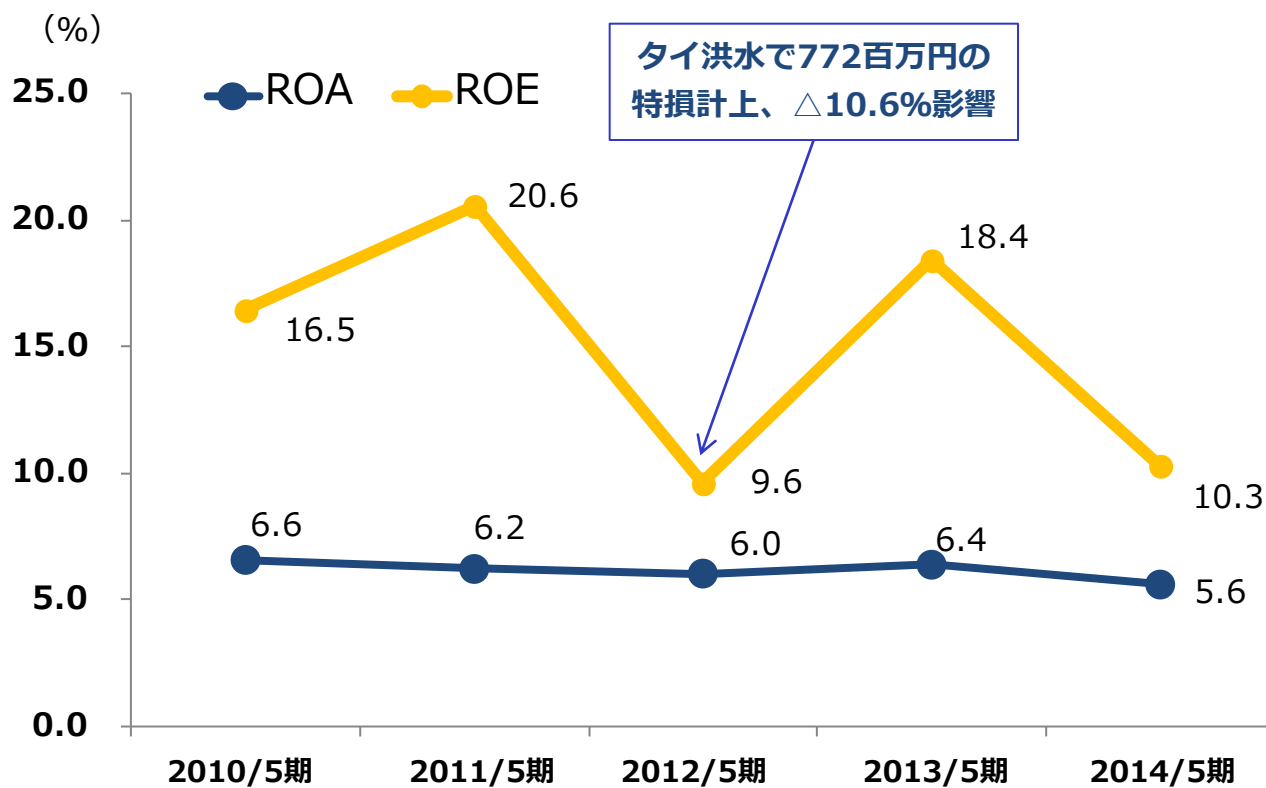


総資産・純資産・自己資本比率



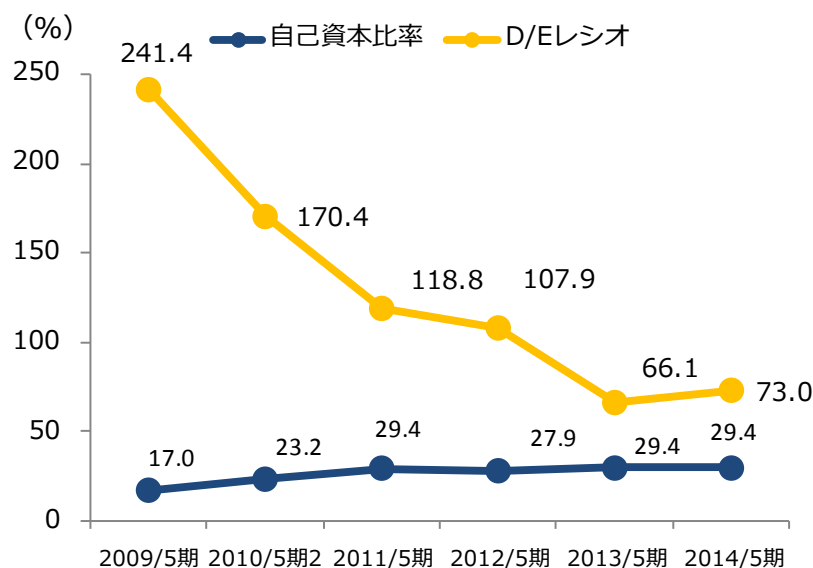
ROE, ROA

ROE, ROAとも安定して推移



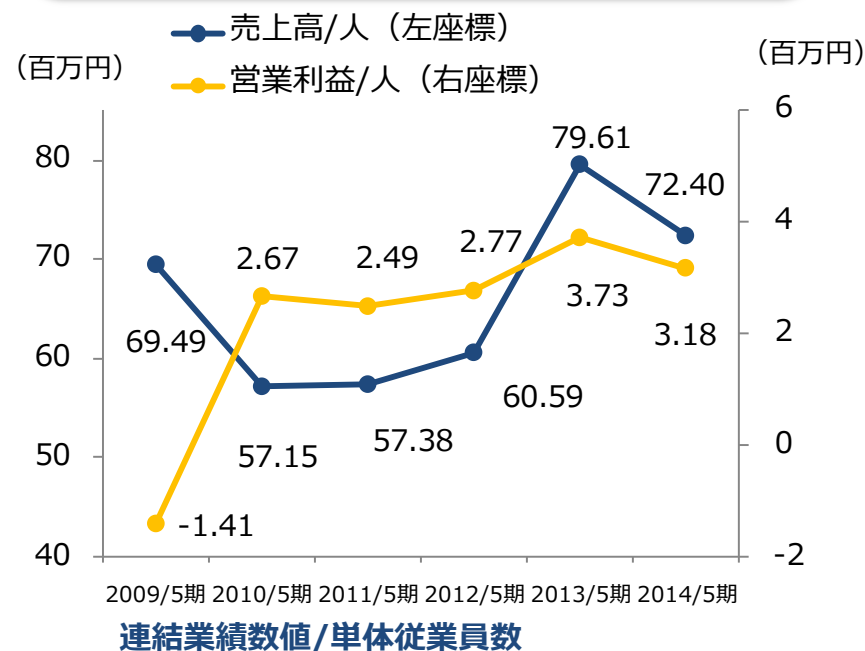
* ROA : (営業利益/総資産) × 100 (%)

自己資本比率とD/Eレシオの推移



- ・リーマンショック以降、コストを大幅に見直し
- ・投資案件の精査、資金の効率的活用などで、業績を伸ばしながら財務安定性を改善

従業員1人当たり付加価値の推移



- ・マザー機能を日本に備えながら、グローバル生産体制を効率的に推進

貸借対照表の概要



		2014年5月期		2014年11月期(上)		
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)
	流動資産	17,344	50.8	20,830	53.2	3,485
	（現金・預金）	3,649	10.7	3,408	8.7	△242
	（売上債権）	8,662	25.4	11,404	29.1	2,743
	固定資産	16,784	49.2	18,320	46.8	1,537
	（有形固定資産）	14,829	43.5	16,219	41.4	1,391
	資産合計	34,128	100.0	39,151	100.0	5,022
	流動負債	15,923	46.7	18,772	47.9	2,848
	（仕入債務）	9,108	26.7	10,699	27.3	1,590
	固定負債	7,338	21.5	8,104	20.7	766
	負債合計	23,262	68.2	26,876	68.6	3,614
	（有利子負債残高）	7,930	23.2	8,963	22.9	1,033
	純資産合計	10,866	31.8	12,274	31.4	1,408
	1株当たり純資産（円）	479.41	-	542.40	-	62.99

キャッシュ・フローの状況



(百万円)

	2013/11期 (上)	2014/11期 (上)
営業キャッシュ・フロー	1,342	△274
税金等調整前当期純利益	683	978
減価償却費	912	1,151
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△253	75
その他の資産の増減額 (△は増加)	△382	△566
仕入債務の増減額 (△は減少)	779	822
その他の負債の増減額 (△は減少)	△462	△202
投資キャッシュ・フロー	△1,199	△554
有形固定資産の取得による支出	△1,113	△513
財務キャッシュ・フロー	△463	229
長期借入金の借入れによる収入	525	1,258
長期借入金の返済による支出	△1,191	△1,142
社債の発行による収入	800	-
現金及び現金同等物の増減額	△355	△241
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,862	3,408



INSTRUMENT PANEL

ENGIN COVER

RR PAD ROOF

ROOF RARE

SPRASH SHIELD

RR TRAY

BACK DOOR PANEL

RR SIDE GARNISH

INNER FENDER

SIGE SILL

UNDER COVER

CUP HOLDER

AIR DUCT

AIR BAG LID

GLOVE BOX

COLUMN COVER

FR GRILL

FR CTR RR PILLER

COWL TOP

FR BUMPER

FR PAD ROOF

INSTRUMENT PANEL

2015年5月期 連結業績予想

新しい拠点のスタート

1. メキシコ『SANKO GOSEI MEXICO, S.A. DE C.V.』（車両向け）、フィリピン『SANKOGOSEI PHILIPINES, INC.』（情報通信向け）が本格稼働
2. 北米拠点の再設立を計画、車輛部品のグローバル受注体制を強化

新技術の導入・新分野への挑戦

1. CAEの動的解析ソフト：従来の静的解析に加え、動的解析ソフトを導入計画、自動車内・外装部品の設計精度を格段に向上させる見通し
2. 双葉電子工業との協業模索：2014年7月に資本参加した双葉電子工業との生産的な協業実現に向けてテーマ別の分科会で検討を重ねる

- ◆ 情報通信機器向けで新機種量産スタート等を背景に大幅増収を見込む
- ◆ 車両向けでも2ケタ増収
- ◆ 家電・その他事業は厳しめに計画

■ 売上高は情報通信分野の受注増により前期比13.3%増の49,000百万円を見込む

- 情報・通信機器事業： 8,000百万円 (前期比 +31.1%)
- 車両事業： 34,500百万円 (前期比 +11.4%)
- 家電・その他事業： 1,500百万円 (前期比 - 8.1%)
- 金型事業： 5,000百万円 (前期比 +10.4%)
 - 金型の成長は、さらに先々の成形品売上高に寄与していく

■ 高付加価値商品の受注、徹底した原価低減により2ケタ増益を見込む

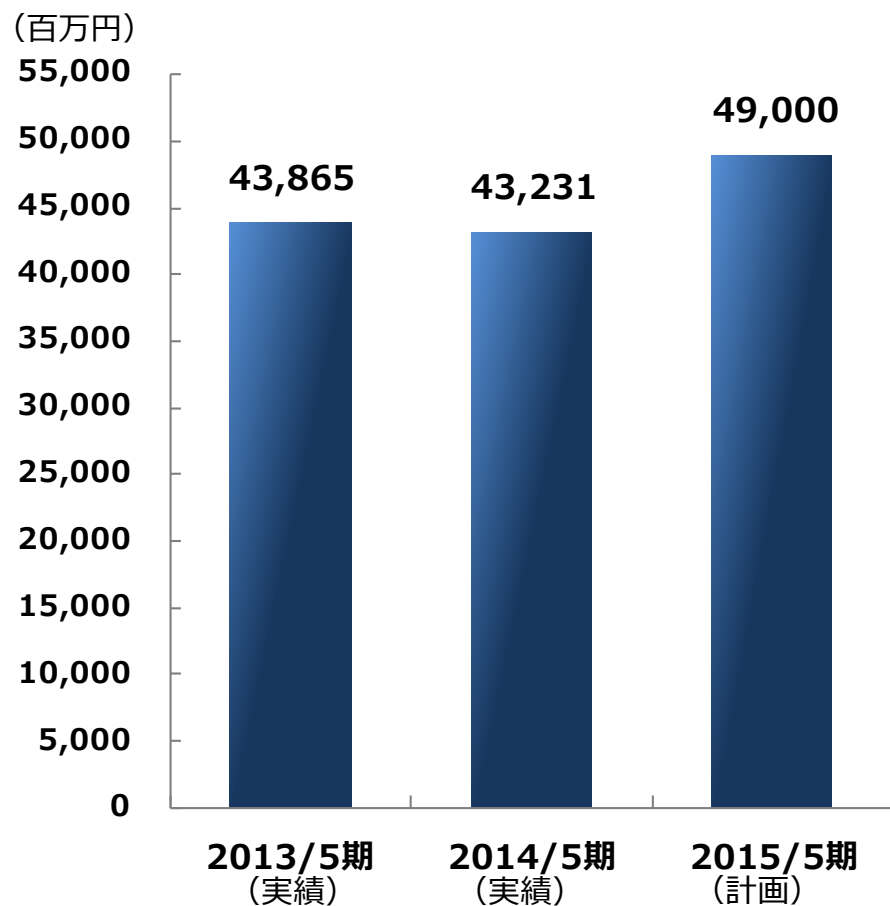
- 営業利益： 2,100百万円 (前期比 +10.4%)
- 経常利益： 1,800百万円 (前期比 +15.4%)
- 当期純利益： 1,300百万円 (前期比 +15.5%)

2015年5月期業績見通し

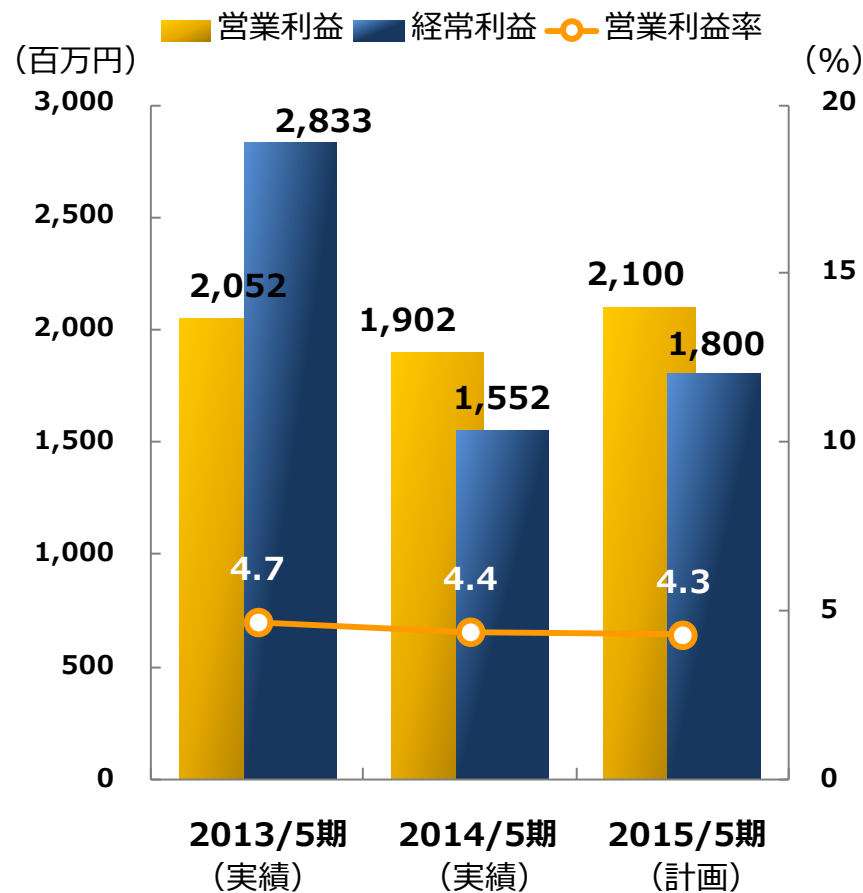


	2014年5月期 (実績)		2015年5月期 (計画)			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比	
					増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	43,231	100	49,000	100.0	5,769	13.3
売上総利益	6,755	15.6	-	-	-	-
販管費	4,852	11.2	-	-	-	-
営業利益	1,902	4.4	2,100	4.7	198	10.4
経常利益	1,552	3.6	1,800	4.0	248	15.4
当期純利益	1,118	2.6	1,300	2.9	82	15.5
1株当たり 当期純利益 (円)	53.43	-	62.13	-	8.70	16.3
1株当たり 配当金 (円)	7.00	-	8.00	-	1.00	14.3

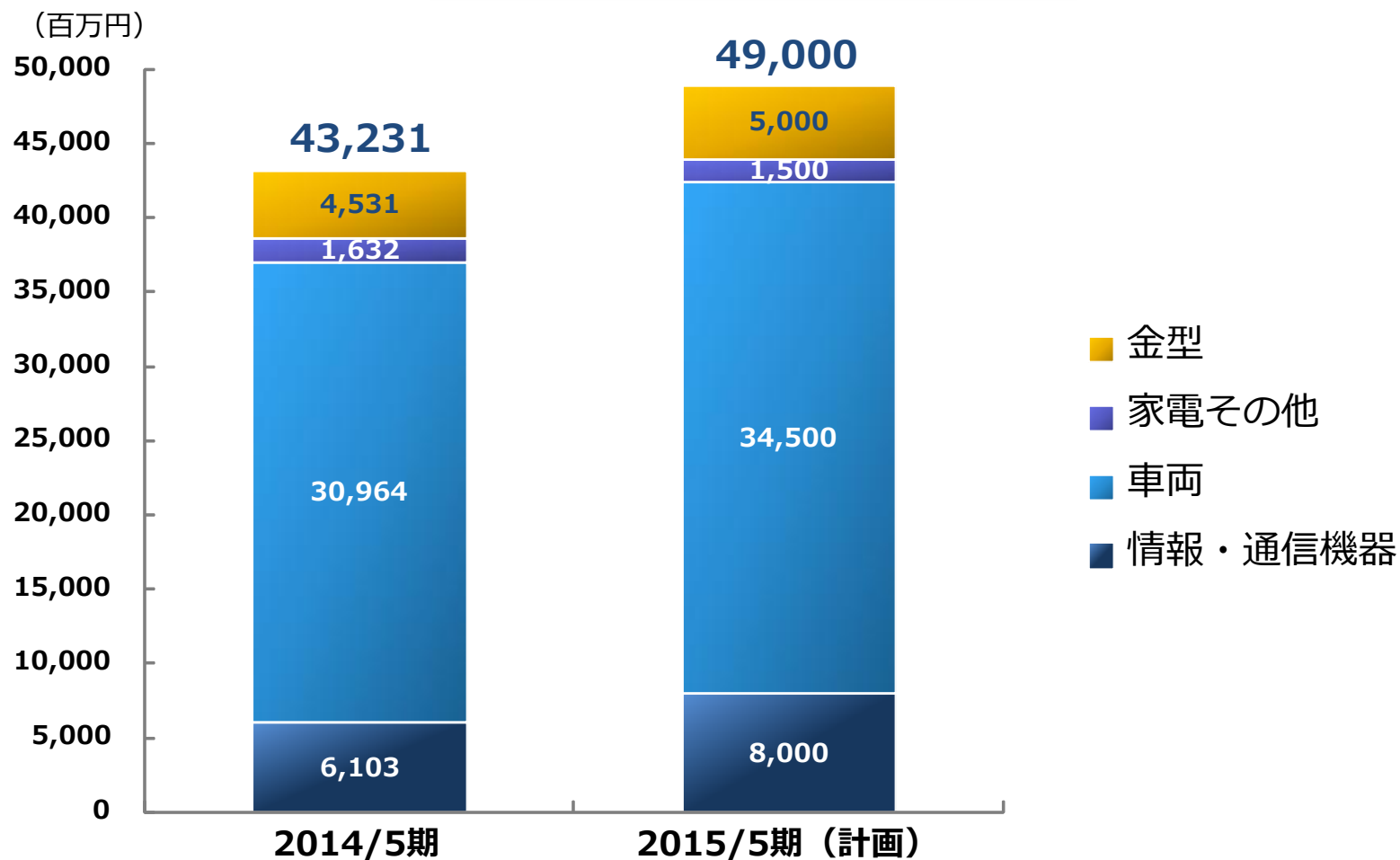
売上高



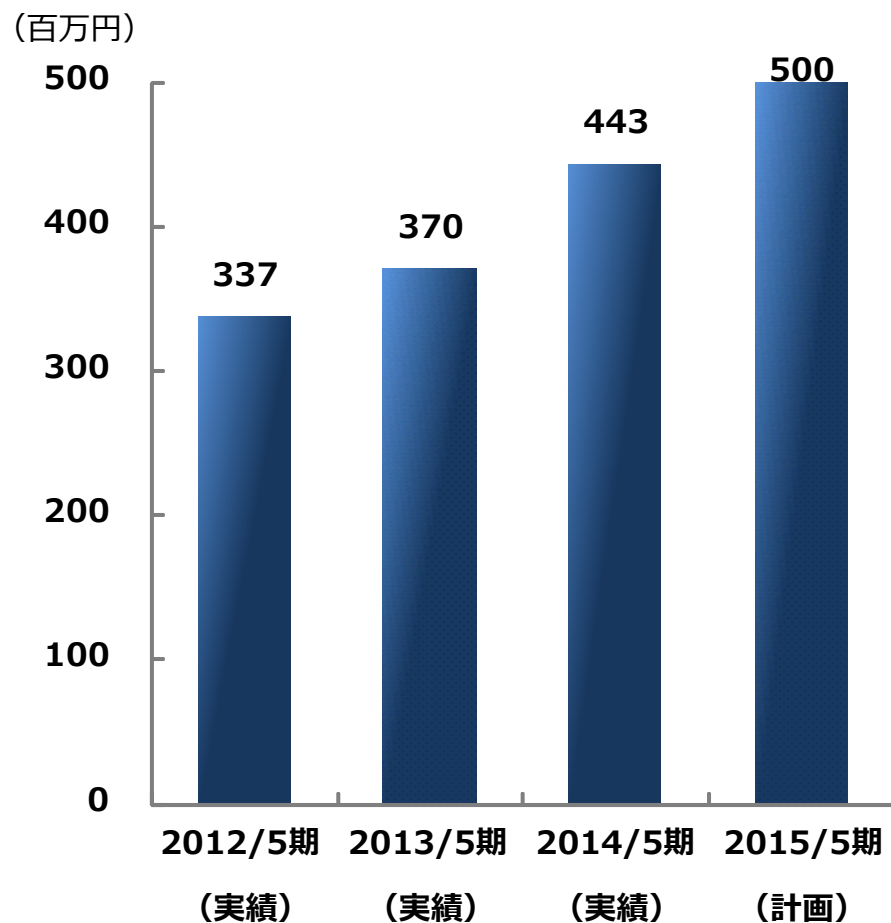
営業利益・経常利益



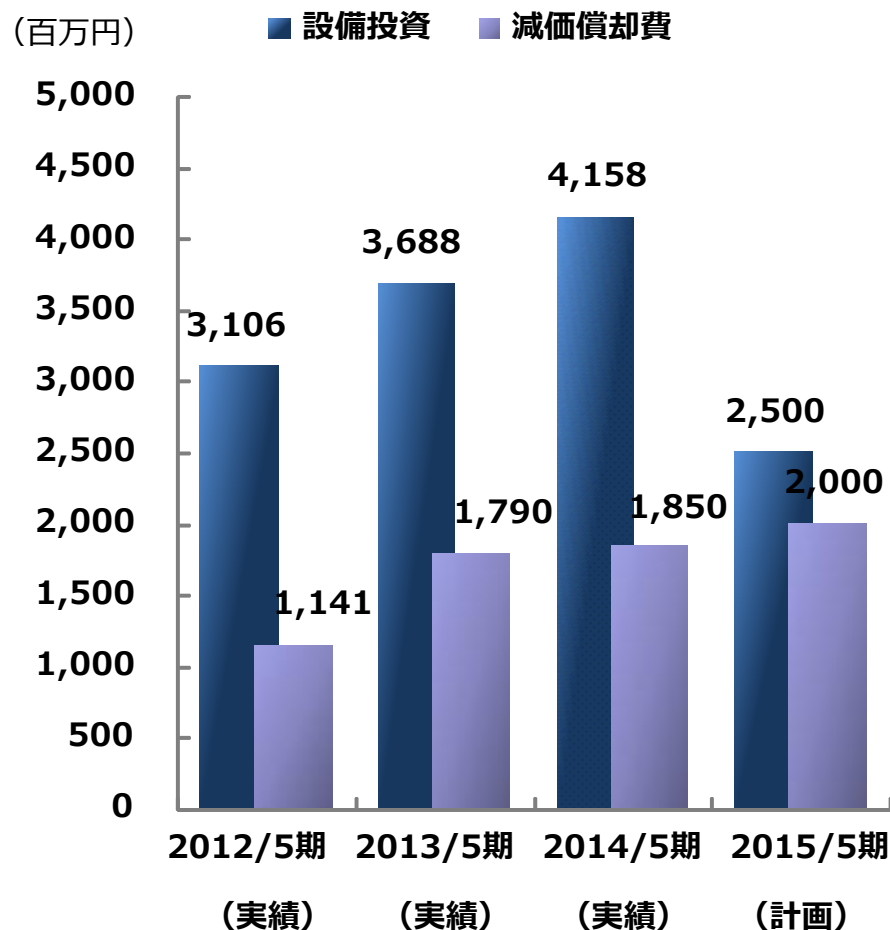
事業別売上高



研究開発費



設備投資・減価償却費



本資料に記載の事業計画、業績予想、および事業戦略は、本資料配布時点での情報を考慮した上での経営陣の判断に基づくものです。

これらの予想は、以下のリスクや不確定要因により、実際の業績と大きく異なる可能性があることに留意してください。

- ・市場における価格競争の激化
- ・当社の事業を取り巻く経済動向の変化
- ・資本市場における大きな変動
- ・為替レートの変動、特に日本円および米ドルの価値
- ・原材料費の高騰
- ・課税環境の変化
- ・経営陣が計画した水準かつ時期に、生産効率を実現して資本支出を実行する能力
- ・上記以外の不確定要因

本資料の情報は、情報の提供を目的としており、当社への投資に対する勧誘とは解釈されないものとします。

お問い合わせ先：

三光合成株式会社

管理部門 芹川（せりかわ） 0763-52-7105